

明細書

カスタンネット式ヘアーアイロン

技術分野

本発明は、手指操作によって髪の毛を延ばすためのヘアーアイロンに関し、特に、簡易な手指操作によって髪の毛を自由にアイロン処理することが可能なカスタンネット式ヘアーアイロンに関する。

背景技術

従来のヘアーアイロンは、平面的に細長い略矩形状のアイロンで、アーム状の板状保持具の先端内側に加熱面を備えた構造のもので、ヘアーのアイロン掛けに際しては加熱面とは離れた位置にある連結端部を片手で操作することとなり、握力の弱い女性では操作が極めて難しかった。

これを図面で見ると、図15は、従来のアーム状のヘアーアイロンの斜視図で、このアーム状ヘアーアイロン101は、加熱面102と押え面103をそれぞれの内側に対向的に備えた細長い矩形状の保持部材104及び105を端部で連結部材106を介して開閉可能に連結されている。このヘアーアイロン101を使用してヘアーアイロン処理するときは、手指Aによって保持部材104、105を握り、手指A及び掌よりは遠く離れた位置にある上記加熱面102と押え面103との間に髪の毛を挟み、保持部材104、105の力を調節することにより、髪の毛にアイロン掛けしていた。しかしながら、上記アーム状のヘアーアイロン101では、上記加熱面102と押え面103をそれぞれの内側に配置したアーム状の保持部材104、105を手指Aで握って保持したとき、手指Aで握む握り部が上記加熱面と押え面より離れた位置にあるので、力加減が難しく、上記加熱面102と押え面103に髪の毛を挟んで、強力にアイロン掛けすることは、特に握力の弱い女性にとっては難しかった。また、加熱面が手指から離れた場所にあるので、微妙な力加減の要求されるヘアーアイロン掛けのための操作の習熟のためにかなりの時間を要していた。

本発明のカスタネット式ヘアアイロンは、従来のような細長い略矩形形状のアーム型保持部材でなく、加熱面又は押え面の反対側、すなわち保持部材の背面部を直接的に握るカスタネット型の保持部材とすることによって、保持部材の加熱面及び押え面の裏面、換言すれば加熱面及び押え面と対向的に配置した保持部材の背面部を該保持部材の連結部を跨いで手指を掛けた位置を、掌に挟むように親指と残りの3本又は4本の指で押さえることができるので、従来のアーム状ヘアアイロンに比して、より正確に、より繊細に、より簡易に加熱面と押え面を操作することができるので、髪の毛を自由にアイロン処理することが可能である。

発明の開示

本発明では、上記従来のアーム状ヘアアイロンの問題点を解決するために、平面的に略正形状の一对の保持部材のそれぞれの内面に加熱面と押え面とを対向的に配置し、且つ、端部の連結部材を介して互いに開閉可能に連結されてなるカスタネット式ヘアアイロンとすることによって、ヘアアイロン操作を容易としたものである。

すなわち、本発明は、基本的に以下の構成よりなるものである。

(1) ヘア加熱面と押え面とが対向するようにそれぞれの内面に配置された一对の保持部材が、端部の連結部材によって連結され、且つ該連結部材を跨いで掛けた掌と手指の押圧力によって開閉自在としたことを特徴とするカスタネット式ヘアアイロン。

(2) ヘア加熱面が、対向するように設けられたことを特徴とする上記(1)のカスタネット式ヘアアイロン。

(3) 前記保持部材の背面部が、平滑面であることを特徴とする上記(1)又は(2)のカスタネット式ヘアアイロン。

(4) 前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置近傍に手指の滑りを防止するための滑り止め面を形成したことを特徴とする上記(1)乃至(3)のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

(5) 前記滑り止め面が、手指と平行する方向及び／又はこれに直交する方向

の連続又は不連続の溝を形成したことを特徴とする上記（１）乃至（４）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

（６）前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置近傍に手指の滑りを防止するための指先嵌合用の凹みを形成したことを特徴とする上記（１）～（５）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

（７）前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置に手指の滑りを防止するための指掛け輪を形成したことを特徴とする上記（１）～（６）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

（８）前記指掛け輪が、各指用の複数個の、又は複数本の指用の１個の、弾性材料で形成されてなることを特徴とする上記（７）のカスタネット式ヘアアイロン。

（９）前記保持部材の少なくとも一方の背面部には、連結部材を跨いで手指を掛けた位置に手指の滑りを防止するための滑り止め面、指先嵌合用の凹み及び／又は指掛け輪を形成したことを特徴とする上記（１）～（８）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

（１０）連結部材を跨いで手指を掛けた位置を掌ないし手指によって握ることによって、保持部材の側方への強い引き動作が可能となり、保持部材に髪の毛を挟んだまま側方に引いて末端まで連続的に髪の毛のアイロン処理を可能としたことを特徴とする上記（１）～（９）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

（１１）前記保持部材の連結端部を避けた位置に、連結部材の側方から外部接続部材を延出することを特徴とする（１）～（１０）のいずれかのカスタネット式ヘアアイロン。

本発明のカスタネット式ヘアアイロンは、各内面に加熱面及び／又は押え面を配置した保持部材を連結する連結部材を跨いで掌に挟まれるように手指によって保持部材が保持されているので、保持部材の開閉動作が手指の開閉操作と一体化されるので、ヘアアイロンを保持することが容易であり、微妙な手指の操作によって自由に、確実に保持部材の開閉調節をすることができる。

また、本発明のカスタネット式ヘアアイロンは、該連結部材を跨いで手指を掛けて操作するものであるが、保持部材の背面部は平滑面でも操作上支障はない

が、手指の滑りを防止するために少なくとも一方の保持部材の背面部に滑り止め面を形成することによって、保持部材の開閉動作にともなう誤動作の防止を図ることができる。

さらに、本発明のカスタネット式ヘアーアイロンは、適宜、少なくとも一方の保持部材の背面部に親指対応の凹部、及び／又は、人差指、中指及び／又は薬指の指先部に対応する凹部を形成することによって、この凹部部に所定の指を嵌合することにより保持部材の開閉動作が手指の力加減によって一体的に操作することができるので、一層確実にヘアーアイロンを保持でき、且つ手指の細かい操作によって自由に保持部材の開閉調節して、ヘアーに所望の圧力を与えることができる。

さらに、本発明のヘアーアイロンは、保持部材の背面部に手指の滑りを止める滑り止め面又は指先嵌合用の凹部を形成しているので、側方への強い引き動作が可能となり、保持部材によって髪の毛を挟んだまま側方に引いて末端まで連続的に髪の毛をアイロン処理する等の操作の自由度を向上することができる。このとき指先を挿入するための指掛け輪を設けることによって同様の作用を行うことができる。また、前記保持部材の連結部材側の端部を避けた位置で同連結部材の側方から外部接続部材を延出することにより、外部接続部材が邪魔になることなく、連結部材を跨いで手指を掛けることができるので、外部電源その他の外部接続部材を設ける場合においても操作性を確保することができる。

本発明の実施の態様について以下に説明する。

なお、本発明では幾つかの実施例によって本発明のカスタネット式ヘアーアイロンを説明するものであるが、本発明はこれらの例に限定されるものではない。

本発明のヘアーアイロンは、加熱面と押え面とを対向して配置した一対の保持部材は、その端部で連結部材を介して互いに開閉可能に連結されている。電源コード等の外部接続部材は、上記保持部材の連結部材の端部を避けた位置で側方から延出するようにする。両方の保持部材には、開くための開きばねを設けて開閉自在としている。

このとき保持部材の背面部は、平滑面でも操作上問題はないが、両方の保持部材の少なくとも一方の背面部に手指の滑りを止めるための滑り止め面を形成する

ことが好ましい。滑り止め面は、指先と平行する方向及び／又は直角方向に延びる多数条の細い連続又は不連続の溝を形成することによって摩擦の大きい面を形成する。

また、保持部材の少なくとも一方の背面部に、適宜、親指、人差指、中指又は薬指の指先が嵌合できる凹部を形成することもできる。勿論、滑り止め面と凹部の両者の併設も可能である。

さらに、保持部材の開閉操作をより確実にするために、上記保持部材の少なくとも一方の背面部に手指を嵌合するための指掛け輪を形成することもより操作を容易とする。この指掛け輪は、両保持部材を互いに開閉するべく連結部材を跨いで手指を掛けた位置に設けた指掛け輪に手指を挿入するものであり、この指掛け輪を介してヘアアイロンを保持し、開閉操作できるように、一本乃至複数本の指を指単位の指掛け輪又はまとめて差込みできる指掛け輪を設けることが、両保持部材を操作する上で有効である。

図面の簡単な説明

図1は、本発明のカスタネット式ヘアアイロンの斜視図である。図2は、本発明のカスタネット式ヘアアイロンの上面図である。図3は、背面部に滑り止め面を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロン、図4は、図2のⅡ-Ⅱ線断面図である。図5は、図4のⅢ-Ⅲ線で切断した背面部（図面では上側）、図6は、背面部（図面では上側）に指掛け輪を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロン、図7は、図6のⅡ'-Ⅱ'線の断面図である。また、図8は、背面部（図面では上側）に滑り止め面を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロンの開き状態図、図9は、背面部に指先嵌合用の凹部を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロンの開き状態図、図10は、背面部（図面では上側）に指掛け輪を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロン、図11は、背面部の滑り止め面に指掛け輪を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロンの開き状態図、図12は、本発明のカスタネット式ヘアアイロンの使用状態図、図13は、背面部（図面では上側）に指先嵌合用の凹部を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロンの開き状態の斜視図、図14は、背面部（図面では上側）に滑り止

め面と指掛け輪を設けた本発明のカスタネット式ヘアアイロンの使用状態図、図15は、従来の細長い略矩形状のアーム型ヘアアイロンの使用状態図をそれぞれ示す。

発明を実施するための最良の形態

本発明のヘアアイロン1は、保持部材4、5を備え、保持部材4、5は加熱面2と押え面3とを対向的に配置している。加熱面2と押え面3は、図面上、上下のいずれでもよいし、両者ともに加熱面であっても構わない。保持部材4、5の端部は、連結部材6によって開きバネ10を介して互いに開閉可能に連結されている。電源コード等の外部接続部材7は、保持部材4、5の連結部材6側の端部を避けた位置に同連結部材6の側方から延出している。押え面が加熱面を兼ねる場合には、例えば連結部材や開きバネを介してコードを連結するようにすればよい。

保持部材4、5の背面部（図面では、上の面）は、図1のような平滑面で十分であるが、保持部材の開閉をさらに容易にするように、図3のような滑りを防止するための滑り止め面9の形成あるいは図7におけるような指先が嵌合できる凹部11を設けていてもよい。滑り止め面9は、指先と平行する方向及び／又は直行する方向に延びる多数条の細い、連続又は不連続の溝を形成することによって摩擦の大きい面を構成する。指先嵌合用の凹部は、保持部材の一方に親指用の嵌合凹部を設けるか、他方の保持部材に人差し指、中指及び／又は薬指用の嵌合凹部を設けるか、あるいは両方の併設でもよい。さらに、図6の指掛け輪8のように指先を挿入するための輪を設けるのも効果的である。この指掛け輪は、少なくとも一方の保持部材の背面部に、親指用に1個の輪を、及び／又は各指単位に複数個（普通は、人差し指、中指、薬指用の3個）の輪を設けてもよいし、3本同時に挿入できる輪であってもよい。輪の材質は、伸縮性のある弾性ゴム紐が適当である。

また、保持部材の背面部に操作時の手指の滑りを防止するために、滑り止め面9、指先嵌合凹部11及び指掛け輪8を、適宜、組み合わせて併設することも本発明の構成に含まれる。

本発明のカスタネット式ヘアアイロンの操作を示すと、図12乃至14は、本発明のカスタネット式ヘアアイロンの動作を示す斜視図である。図1～図11に示されるヘアアイロンを、収納箱から取り出し、図示しないロック装置等を外すことにより、開きばね10によって両保持部材4、5の間が開く。両保持部材4、5を手指によって挟み付けることにより、一方の保持部材内面の加熱面2と他方の保持部材内面の押え面3とが対向して互いに押圧可能とする。そして保持部材の背面部を親指と他の指で掌に挟み付けることにより、両保持部材4、5間を開閉自在とすることができる。この際、両保持部材の背面部に設けた指掛け輪8、滑り止め面9や指先凹部11を利用すれば、さらに確実の開閉できる。

本発明のカスタネット式ヘアアイロンを用いて髪の毛にアイロン掛けする際には、両保持部材4、5の間の隙間に髪の毛を啜えるように挟み、両保持部材4、5を手指によって挟み付けることにより、加熱面2が加熱されていれば、挟んだ髪の毛についてアイロン効果を得ることができる。ここで手指の力を抜いても、保持部材4、5は開状態にはなっても、掌に掴んだ状態で手指で保持しているので、小さい握力でヘアアイロンは落下することなく、連続的に次のアイロン操作に容易に移ることができる。

このように本発明のヘアアイロンの使用の際には、保持部材4、5の連結側を跨いで手指Aを掛け、カスタネットを持つようにヘアアイロンを保持することができるので、保持部材4、5の開閉動作が手指Aの開閉操作と一体化されることとなり、ヘアアイロンを保持しつつ手指の操作によって自由に保持部材の開閉調節をすることができる。

したがって、両保持部材を介して髪の毛を挟み、アイロン処理する場合に、指先の微妙な調節によって無理な力が髪の毛に加わることを回避し、自由なアイロン操作が可能となる。

また、上記保持部材の少なくとも一方の背面部に滑りを防止するための滑り止め面を形成しているので、側方（手指の直角方向）への強い引き動作が可能となり、保持部材によって髪の毛を挟んだまま側方に引いて末端まで連続的に髪の毛をアイロン処理する等の操作の自由度を向上することができる。

このとき、保持部材の連結部材側の端部を避けた位置で同連結部材の側方から

外部接続部材を延出することにより、外部接続部材が邪魔になることなく連結部材を跨いで手指を掛けることができるので、外部電源その他の外部接続部材を設ける場合においても操作性を確保することができる。

産業上の利用可能性

本発明のヘアアイロンは、カスタネット式に片手の掌に保持部材を挟んで、簡単に開閉操作が可能であるので、ヘアアイロン操作も確実で、手指の操作によって自由に保持部材の開閉調節をすることができるので、ヘアアイロン操作を容易に行える利点がある。また、保持部材の背面部に滑り止め面を形成しているので、アイロンの保持も確実である。また、保持部材の背面部に所定の指の指先対応の凹部を形成することによって、指を嵌合することにより保持部材の開閉動作が手指の開閉操作と一体化されるので、ヘアアイロンを保持しつつ手指の操作によって自由に保持部材の開閉調節をすることができる。

したがって、両保持部材を介して髪の毛を挟んでアイロン処理する場合に、指先の調節によって無理な力が髪の毛に加わることを回避し、自由なアイロン操作が可能となる。

さらに本発明では、加熱面及び／又は押え面を有するヘアアイロンそのものが、掌ないし手指の中におさまるため、アイロン操作をする操作する人の手指の間隔の中で髪を挟むことができ、より髪の毛の状態がわかりやすくなり、より細かなアイロン操作が可能となった。さらには、操作技術も従来のアーム型のヘアアイロンを使用するのに比べ、早く簡単に取得できるようになった。



請求の範囲

1. ヘアー加熱面と押え面とが対向するようにそれぞれの内面に配置された一対の保持部材が、その端部の連結部材によって連結され、且つ該連結部材を跨いで掛けた掌と手指の押圧力によって開閉自在としたことを特徴とするカスタンネット式ヘアーアイロン。

2. ヘアー加熱面が、対向するように設けられたことを特徴とする請求項1のカスタンネット式ヘアーアイロン。

3. 前記保持部材の背面部が、平滑面であることを特徴とする請求項1又は2記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

4. 前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置近傍に手指の滑りを防止するための滑り止め面を形成したことを特徴とする請求項1又は3のいずれかに記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

5. 前記滑り止め面が、手指と平行する方向及び／又はこれに直行する方向の連続又は不連続の溝を形成してことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

6. 前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置近傍に手指の滑りを防止するための指先嵌合用の凹みを形成したことを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

7. 前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置に手指の滑りを防止するための指掛け輪を形成したことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

8. 前記指掛け輪が、各指用に複数個の、又は複数本の指用に1個の、弾性材料で形成されたものであることを特徴する請求項7記載のカスタンネット式ヘアーアイロン。

9. 前記保持部材の少なくとも一方の背面部に、連結部材を跨いで手指を掛けた位置に手指の滑りを防止するための滑り止め面及び／又は指先嵌合用の凹み及

び／又は指掛け輪を形成したことを特徴とする請求項1乃至8のいずれかに記載のカスタネット式ヘアアイロン。

10. 連結部材を踏いて手指を掛けた位置を、掌ないし手指によって握ることによって、保持部材の側方への強い引き動作が可能となり、保持部材に髪の毛を挟んだまま側方に引いて末端まで連続的に髪の毛のアイロン処理を可能としたことを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載のカスタネット式ヘアアイロン。

11. 前記保持部材の連結端部を避けた位置に、連結部材の側方から外部接続部材を延出することを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載のカスタネット式ヘアアイロン。

